

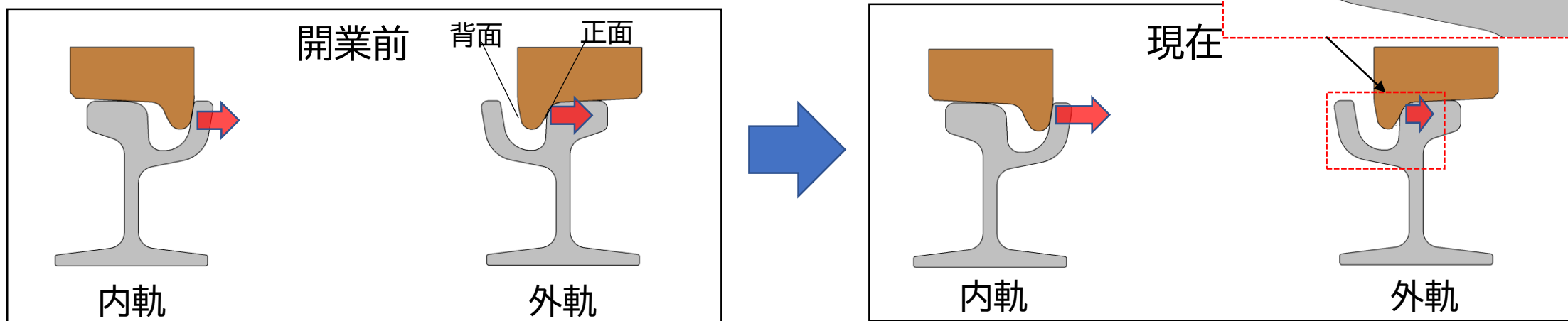
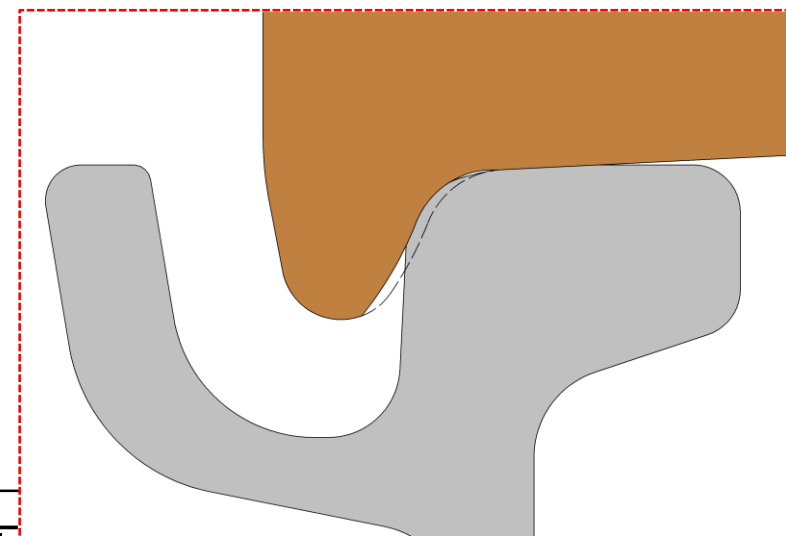
効率的な維持管理手法について

資料2

- 開業後2ヶ月は正面側に摩耗が進展していたが、それ以降は摩耗量が少なくなっていることから、車輪正面側の摩耗によって、曲線部においては、開業時よりも内軌の背面側の接触が強くなっていると考えられる。









- 車輪とレールの接触状態の変化が推察されることから、営業車両を用いて常時観測する手法について検討していく
(想定される測定手法として、振動加速度計による手法も含めていく)



有識者会議の進め方について

- ・ 維持管理手法は令和5年度中に検討を行い、令和6年度に測定
- ・ 有識者会議において、令和6年度当初に維持管理手法の検討結果の報告、測定経過を踏まえた中間報告を経て、令和6年度末に手法や測定結果について評価

今後のスケジュール

項目	R5年					R6年												R7年					
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
効率的な維持管理						 手法の検討			 測定														
有識者会議	※ 会議は必要に応じて適宜開催								 ○			 ○						 ○					
						 任期																	
						※ 摩耗管理については適宜報告																	